

営農ウィークリーNEWS

秋冬野菜のシーズン到来!!

彼岸を過ぎ、秋冬野菜づくりが始まりました。秋の日はつるべ落としと言われますが、早め早めに作業準備を進め、まずビタミン・ミネラルの宝庫である野菜をガッチリと作りましょう。そして自らがシッカリと摂取し、それから出荷に繋げて是非とも消費者に届けたいですね。その前に野菜づくりの基本を確認するクイズを。○×でお答えください。

＝野菜クイズ8問＝

- 1 ピーマンは完熟しても緑色のまま？
- 2 ナス、ジャガイモ、トマトは全部ナス科である？
- 3 江戸時代トマトは赤ナスと呼んでいた？
- 4 日本の一年間の野菜生産量は米より少ない？
- 5 日本で生産量最多の野菜はトマトである？
- 6 緑黄色野菜はがん予防に効果がある？
- 7 サツマイモにはミカンに負けないビタミンCがある？
- 8 ビタミン類は調理すると壊れやすく、サラダで生食する方が多く摂取できる？



消費者に届ける！（淀野菜まつり）



正解 1×赤くなるものと黄熟するものがある
2○ 3○18世紀初期に渡来、当時は観賞用 4×米より多い 5×ダイコン、キャベツの方が多
6○ ビタミン、鉄、植物繊維の供給源 7○ほぼ同程度
8×煮炊きすると多く食べられ生食より摂取が多い

※ついでに農業に由来することわざを紹介！

「精農は土を作る」「精農は草を見ずして草を取り、中農は草を見てから草を取り、惰農は草を見て草を取らず」「トマトが赤くなると医者が青くなる」「親の意見となすびの花は千に一つの無駄が無い」「苗代半作」等々。何か思い当たるものがありますか？

—TAC information—

トビイロウンカ被害!!!



※ドローンで上空より撮影

今年度、管内でも猛威を奮っているトビイロウンカですが、昨日、海印寺支店管内でもヒノヒカリで発生が確認されました。

ヒノヒカリも収穫間近を迎えており、薬剤散布も収穫前日数等、気を付けなければなりません。

被害を確認されたときは、JAまでご相談ください。

関係各位

京都府病虫害防除所長
(公印省略)

病虫害発生予察情報について

下記のとおり発表しましたので、送付します。

発生予察特殊報第2号

病虫害名	タバコノミハムシ <i>Epitrix hirtipennis</i> (Melsheimer)
作物名	ナス、トマト
発生地域	中丹地域以南

1 発生経過

令和元年7月下旬に京都市内の露地栽培ナスにおいて、ノミハムシ類の成虫による葉の食害が確認された。成虫を採集し、農林水産省神戸植物防疫所に同定を依頼したところ、本府では未確認のタバコノミハムシと同定された。本種は、アメリカ合衆国を原産とする外来種で、国内では、平成23年に群馬県で初めて発生が確認され、令和元年9月20日現在、栃木県、神奈川県、静岡県、愛知県、三重県、岐阜県、大分県、新潟県、滋賀県、奈良県、大阪府及び岡山県で発生が確認されている。

2 形態及び生態

成虫の体長は1.5～2.5mm。長楕円形でやや扁平であり、密な短刺毛に覆われる。体色はやや光沢のある赤褐色で、上翅には不明瞭な黒斑がある(写真1)。後腿節は顕著に肥大し、触角は11節である。卵は地表に産み付けられ、孵化した幼虫は地中で根を加害した後、地表部近くで蛹化する。気温27℃長日条件(14時間明期、10時間暗期)下における卵から成虫までの発育日数は約24日である。成虫は落葉等の下で越冬する。国内での詳細な生活史は不明であるが、関東地方では、5月から11月まで成虫の発生が確認されている。

本種はタバコ、ナス、ジャガイモ、ホウズキ等のナス科植物を寄主とし、アメリカ合衆国ではタバコの重要害虫とされている。国内では、これまでホウズキ、ナス、ジャガイモ、ワルナスビ、トマトで発生が確認されている。

3 被害の特徴

成虫が葉(写真2)や花(写真3)を直径1～2mm程度の小さな円状に表皮を残したり貫通させて食害する。

4 発生状況

令和元年8月から9月にかけて京都府内の減農薬栽培ナスを中心に本種の発生調査を行った結果、のべ25ほ場中、15ほ場において、本種の発生を確認し、中丹地域の福知山市から山城地域の精華町までの広範囲で確認した(表1)。また、発生ほ場に隣接するトマトにおいても本種による被害葉を確認した。

5 防除対策

- (1) 令和元年9月20日現在、本種に登録のある農薬はない。しかし、本府において慣行の薬剤防除を行っているナスほ場での被害は軽微であることから、慣行栽培ほ場で被害が拡大する可能性は低いと考えられる。
- (2) 被害葉及び作物残渣は本種の発生源となり、隣接するナス科作物へ本種が移動するので、栽培終了後には作物残渣を速やかに処分する。

みなさん、注意して下さい！